

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2014-107826(P2014-107826A)

【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-261490(P2012-261490)

【国際特許分類】

H 04 N 5/222 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/222 Z

H 04 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月16日(2015.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

その後、プロジェクター3は、タイムスタンプに基づき、変換後の映像信号および音声信号を同期して出力する(S30およびS31)。すなわち、タイムスタンプの無視を有効とする制御パラメータを受信していないので、デフォルトの設定の同期出力により、映像信号および音声信号を出力する。これにより本再生処理を終了する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

また、「拡声モード」に切り替えられている場合に、音声処理に関する制御パラメータ(エコーキャンセルを有効とする制御パラメータおよび音量調整 / 音域調整に関する制御パラメータ)を送信することで、拡声使用時に、音声処理(エコーキャンセル、音量調整および音域調整)を行わせることができる。そのため、拡声使用時ならではの問題(例えばハウリング等)や要望に適切に対応することができる。